

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で書き込んで下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年3月9日
 派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	四国中央市	代表者名	篠原 実
担当者部署	財務部	連絡先電話番号	0896-28-6204
担当者役職	課長	担当者氏名	則友 康弘
住所	799-0497 愛媛県四国中央市4丁目6番55号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体独自に『デジタル情報化計画』を策定するのが良いこと。その為にどのように業務を遂行していくのか具体的にご教示いただいたこと。
アドバイザーへの要望事項	今後も継続した支援をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月19日	13時15分	16時15分	10	170
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	-----------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	行政手続きにおけるDX推進プロジェクトチームを立ち上げたが、今後、自治体DXを全庁的にどのように推進していけば良いか。そのために必要な業務分析をどのようにしていくのか。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DX推進にあたり、業務分析などの精査をすることで全庁的にDXを推進する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	『デジタル情報化計画』を自治体独自で策定するには、住基データや番号情報のデータを知り、データを活用することで地域のニーズが見えてくる。そうすることでDX推進の方法はもちろん、費用面、住民との関係性などを考え先を見越した計画の策定ができる。また、国は今年の夏頃『自治体DX推進手順書』を出す予定であり、そうすると全国の自治体が一斉に動くことになりベンダー等の技術支援も競争化が予想されるため、標準準拠システムの31項目の精査をはじめ、早期に取り組む必要があるとご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	国の『自治体DX推進計画手順書』が示されたら、全国の自治体が一斉に動き出すことが想定される為、標準準拠システムの導入に備え既存システムの改修に必要な精査等、早い段階でベンダーと協議し対応する必要があることがわかった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	標準準拠システムの導入に備え既存システムの改修について、システム内容の精査等。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 個別事業支援の対象が担当部署のみであったため、特にアンケートは実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

